

## 答申書後半部分の協議について（第5回、第6回）

**議題** 徳山地区にとって重要と思われる事業の検討

- ・今後、更なる充実が必要であり、徳山地区にとって重要と思われる施策・事業について検討。
- ・「市民の安心・安全」「地域の特色を生かした事業の展開」「安定した市民サービスを提供できる行財政基盤の強化」という3つの視点を踏まえ、今後の徳山地区におけるまちづくりに資するような事業の検討。

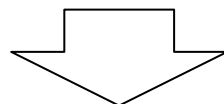
## 協議における留意点

- 事業が重要と思われる理由についてもご議論いただきたい。
- 「安心・安全」、「地域の特色を生かした」、「行財政基盤の強化」は事業を検討する際の視点。

対象となる事業（ハード事業、ソフト事業に係る全ての事業を対象）

**参照** 参考：3まちづくり総合計画 分野別計画体系図

- ・新市建設計画掲載事業
  - ⇒ 実施・未実施に関わらず徳山地区にとって重要であり、今後も強化すべきと考える事業。
- ・新市建設計画未掲載事業
  - ⇒ 今後の市を取り巻く環境の変化を考慮した上で、重要と考える事業。



徳山地区として重要であり、今後、重点的に取り組む必要があると考える事業を答申に列記することで、今後のまちづくりの方向性について市長へ提言を行う。

## 【協議形式の決定】

- ① 15人全員での協議
- ② 複数グループに分かれて協議
  - ⇒ 審議会の中でグループに分かれて協議し、協議終了後にお互いの意見交換

	メリット	デメリット
① 15人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一度に情報共有が可能。</li> <li>・効率的な運営が可能。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多人数のため、全員の発言に時間を要する。</li> </ul>
② 複数グループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数のため、発言しやすい。</li> <li>・一人一人の意見を汲み取りやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最終的な全体会議での意見集約に時間を要する。</li> <li>・意見が偏り易い。</li> </ul>